

## 南部みどり幼稚園

### 令和3年度学校自己評価結果報告書

#### 1. 本園の教育目標

本園の身近にある豊かな自然環境を通して、たくさんの「ふれあい」「出会い」を大切にし、物を大切にすること・やさしくすること・夢中になること・感動することそして愛することのできる子どもの育成を目指し、ひとりひとりを大切に自主性を尊重し、やる気を育てる幼児教育を目標とする。

1. 健康なからだと健康なこころを支える体力を持った子ども
2. 自分の力で最後まで考えたり創造したりする子ども
3. 友達と仲よく元気にあそべる子ども
4. 心豊かなやさしさと愛のある子ども
5. ことばを愛し、豊かな表現活動のできる子ども

#### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

今年度も引き続き、教育目標を継続して達成すべく、その充実に努める。特に、コロナ禍における保育・各行事の内容、取り組みについて検討をしていく。

#### 3. 評価項目の達成及び改善点

評価分類	評価結果	改善点
保育の計画性	A～B	・新年度に向け、保育の見直し検討する会議を重ねているので、行事内容も含めて、職員間で共通理解が出来るように思う。今後は更に意見交換しながら建設的な話し合いを積み重ねていくことが大切だと感じている。 ・コロナ禍で行事等は昨年度の様子を踏まえながら、より検討を重ねて行うことが出来た。状況に合わせて、より良い保育のあり方を考えて行けるにしたい。自分の反省点を振

		<p>り返り、次への課題として生かしていけるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の理念や方針については、おおむね理解している。少人数での生活で活動の展開がほとんどなかった。</li> <li>・今までやってきた保育が子どもたちの成長につながったこともあるが、必ずしも目の前のこどもたちにもそうかと問われると違う部分もある。細かな違いであってもそれを目の前の子どもたちに合わせた保育として対応出来るようにしたいと思う。計画・評価はしても反省の部分が疎かになってしまうことがあるので、十分な反省をして次に生かせるようにしたい。</li> <li>・基本的な理念・方針は理解できていて、話合いの時間も多く設け、共通理解していると思うが、一人一人の受け止め方はやはり様々なので充分と言うでは更に話合いの時間が必要と思われる。</li> </ul>
<p>保育の在り方・幼児への対応</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれが個性豊かで月齢の差からの個人差も大きくあり、一人ひとりを大切にしたい関わりを心掛けた。一人に時間がかかってしまい、他を待たせてしまうこともあったため、個と集団、全体をより意識して、見通しをもった関わりを心掛けていくようにしたい。</li> <li>・様々な場面での子どもの様子を情報交換しながら、ひとりひとりの育ちに寄り添って、共に育っていけるよう心掛けていく。</li> <li>・まず子ども1人1人の心の状態を察知して、寄り添うことが大切。</li> </ul>

		<p>上から目線ではなく同じ目線で一緒になって心の中に入り込み触れ合う中から信頼関係が生まれ、安定した園生活を送れると思う。最も大切にしていきたい心構えだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の子どもを色々な角度から見られるように柔軟な対応、子どもに関わる人たちとの情報交換の共有を意識しているが、集団になった時に、やはりそちらを優先してしまうことが多くなってしまうので、一人ひとりにあった対応、保育が出来るようにしたい。その中で、それぞれの子どもたちが自分の力を発揮しながら成長できるよう見守っていきたい。</li> <li>・言葉にならないサインが何を伝えよとしているのかすべてに対応する事が出来なかった。個人においてと集団においての関わりを区別することで、子どもたちに係わる事が出来た。異年齢での関わりについては、兄弟関係もあり日々的に行うことができた。</li> </ul>
<p>教師としての資質の能力・良識・適正</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの日々の様子は出来るだけ、家庭と共有できるようにしている。園での活動を他の子どもと比べるのではなく、その子自身がどう成長しているのかを見られるように意識して保育するようにし、出来るようになったことは、クラス、園全体で共有したい。子どもたちと社会をつなげているように、自分自身も社会をつなげていけるように、自分自身も社会の情勢など学ぶことが必要だと感じている。</li> <li>・先生である前に 1 人の人間として</li> </ul>

		<p>常に正しくありたいと思い行動している。保護者にもいろいろなタイプあり対応には充分配慮していくことが必要。まず子どもたちがまっすぐ成長できる様に信念はブレずに持ち続け、それを実行していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に目を向け、新しい情報を取り入れたり、保育の中に活かしていく工夫をしていきたい。</li> </ul>
<p>保護者への対応</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分とは言えないが、頑張っているところや楽しいエピソード等を伝えることで、園生活が楽しめているように思ってもらえるように心掛けていく。</li> <li>・担任としては仕事をしていないため、個々には連絡は取り合えないが、全員の保護者に対して、気軽に相談してもらえる様な気配り心遣いをしていきたいと思う。</li> <li>・出来るだけ園での子どもたちの様子を伝えようと心掛けているが、どうしても伝えなければいけないことに限られてしまっている。保育と平行して、連絡帳を書くのは難しい部分もあるが、子どもたちの何気ない発言や行動、成長の様子を保護者に伝える機会を増やしていきたい。</li> <li>・クラスだよりについては日々の保育の様子を細かく書くよう努めた。保育参観や個別懇談会等での会話はすくなく、話す機会も少なかった。</li> <li>・保護者が見て読みやすい、分かりやすいよう、クラスだより等のまとめ方を常に工夫していきたい。相手に考えを明確に伝えられるように努めたい。</li> </ul>

<p>地域や自然や社会とのかかわり</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、子育てサロンが行えなかったり、行事への参加の制限をお願いしたりする状況が続いている。今後も、コロナだけでなくその時の状況によって、より良い行い方を検討していきたい。</li> <li>・園の周りに恵まれた自然があるが、十分に関わりをもてる機会がないように思う。特別に何かするのではなく、普段の生活の中で自然と触れ合える環境を作ることが出来ればと思う。</li> <li>・卒園児が折に触れ、訪ねてくれるのがとてもうれしい。大切な場所として存在価値を感じる。地域のセンター的な役割を担えるような環境作り取り組みは町と相談してやっていけたら理想的と思う。</li> <li>・コロナ禍ということで、なかなか地域の交流も出来ずにいるので、コロナ対策をしながら取り組んでいきたい。</li> </ul>
<p>研修と研究</p>	<p>A～C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修会はなかなか参加出来ない。情報収集はインターネット等を活用していく。</li> <li>・自分自身成長のためにも研修に多いに参加したいと思うが、機会は今一つ足りない気がしている。積極的に学習する意欲を持ち続けたいと思う。</li> <li>・担任の垣根を超えて、家庭や子どもたちの情報を共有したり、成長を見守る事は出来ていると思う。園外での研修会に参加する機会がほとんどないので、積極的に情報集めて、一つでも参加出来るように</li> </ul>

		<p>したい。</p> <p>・キャリアアップ研修に年度末に参加した。研修だけで終わらずに、内容を保育の場で生かしていけるよう努めたい。</p>
--	--	--

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価は「A～B」であることを確認した。

教職員一人一人が、自己点検・自己評価を自覚し、目標の達成に努力したが、さらに本園の教育目標を確固たるものにするため、各々が日常的に自己評価を行い、資質向上に努めることを共通の理解とした。

#### 5. 今後の取り組むべき課題

今後取り組むべき課題として、令和4年度は以下を重点課題する。

令和3年度を総合的に検証、また反省する中で、継続して課題に取り組んでいく。

##### 「保育の計画性」

コロナ禍での新生活様式の中で、日々の保育の計画については、子どもの様子をしっかりと捉え、各行事を含め年間計画、月案と照らし合わせながらたてていく必要がある。教師間も横の連携も大切にしながら、計画を立てていく。

##### 「保育の在り方、幼児への対応」

子どもたち一人ひとりの育ちを考え、どのような援助・言葉掛けが良いか、他の職員とも相談しながら対応するようにし、危険予測や、子どもが起こすかもしれない次の行動を、もう少し考えられるようにしたい。

##### 「研修と研究」

コロナ禍で、園外での研修もなかなか開催されず、なかなか研修会参加への機会も限られた状況下ではあったが、4年度は次第に改善されていくかと思われるので、積極的に研修会参加の機会を増やしていきたい。

#### 6. 財務状況

子ども子育て支援新制度に移行し、財務状況は改善されてきてはいるが、園児の減少は一段と厳しい状況下にあるため、園の財政、職員の処遇改善等さらに厳しい努力をしなければならない。